

宮崎県豚熱対策本部会議（書面開催）

令和8年1月15日

1 協議事項

野生イノシシにおける豚熱への感染確認事例について

2 本部長指示事項

- （1）国や隣県と連携して野生イノシシへの対策を強化するとともに、引き続き、徹底した農場防疫を確実に行い、疾病の発生防止に努めること。
- （2）現場の状況をしっかりと把握して、県民に対して正確な情報を迅速に伝えること。
- （3）関係部局が緊密に連携し、全庁挙げて対応すること。

野生イノシシにおける豚熱への感染確認事例（67例目）について

令和8年1月15日
農政水産部畜産局
家畜防疫対策課

1 事例の概要

（1）イノシシの捕獲場所

えびの市東長江浦

- 12月26日、猟友会会員が捕獲個体の検査検体を採取
- 1月9日、えびの市を通じ宮崎大学へ送付

（2）宮崎大学による検査

- 1月15日、宮崎大学でPCR検査を実施したところ、『陽性』の判定
- 同大学での確定検査により、ワクチン由来ではなく野外ウイルスと判定

（3）発見場所の周辺10km内の養豚農場

19戸（えびの市18戸、小林市1戸）

約26,000頭

※一部鹿児島県が含まれるが、農場数については不明



野生イノシシにおける豚熱への感染確認事例（67例目）について

2 県の対応

1月15日（木）

- 周辺の養豚農場（19戸）への電話口頭指導

『農場でのウイルス侵入防止対策の再徹底』

- 野生動物の侵入防止対策の点検（防護柵等の設置状況の確認）
- 農場に入場する車両、物、人の消毒
- 異状があった場合の早期通報

- 関係団体等への防疫対策強化通知文の発出

17:00 県豚熱対策本部会議の開催（書面）

18:00 検査結果のプレスリリース（県）
家畜防疫情報メールの発信

3 今後の対応

（1）豚熱経口ワクチンの緊急散布

発見地点から半径10kmの区域における経口ワクチンを散布予定

（2）捕獲の強化

貸与わなの増設（予定）